



サーバス九州

日本サーバス九州支部会報

No.146 2011年12月9日

支部長

厳しいことの多かった2011年でしたが、新しいカレンダーが出番を待つ季節となりました。今年は庭の水仙の花が早くから咲き始め、香りを楽しませてくれています。一方で、少し早い訪れにやっぱり気候がへんなんじゃない？との疑問も生じます。みなさまの周りはいかがでしょう。

会報146号(2011年12月号)をお届けします。

今会報は

- 1 サーバス九州秋例会参加記(宮崎:11月19・20日)
- 2 サーバス旅行報告(佐賀県の3会員・福岡会員)
- 3 会員情報(新入会員・復帰会員の紹介)
- 4 日本サーバスから
- 5 東北支部からの要請
- 6 サーバス九州2012支部会議+フィールドワークのおしらせ
- 7 サーバス九州からのお願い

を掲載しています。記事中お気づきがありましたら、緒方までお知らせください。

1. 秋例会(宮崎)参加記

2011年の秋例会は宮崎支部主催で11月19日(土)～20日(日)に宮崎で行われました。

朝からひどい風雨で家を出るときは少々重い気持ちを励ましながらの出発でしたが、途中でY会員の車に移動し、車中でのおしゃべりを楽しんでいるうちに、風雨もいつの間にかおさまり、九州山地を越えるときには、お日様もさし始めて、秋の景色を愛でながらの小旅行に気持ちが高揚していきました。宿舎兼集合場所のニューウエルシティ宮崎には定刻の14時よりちょっと遅れて到着。なじみの顔に出会えてお互いの元気を確認。N夫妻の愛息・りゅうへいくん(5歳)の姿も見えます。長崎・大分・福岡からは5~6時間かけての到着ですが、みなさんに疲れは見えません。

さっそく会員の車に分乗して「フローランテ宮崎」へ。広大な敷地に約30,000株の草花と芝生が植栽された、ゆったりとしたガーデンをおしゃべりをしながらの散策です。

その後は「何もない海」を見に展望台のあるホテルに。確かに何もありません。地球が丸いことを感じさせてくれる水平線のパノラマです。「向こうはアメリカですよ」に不思議な感覚を抱きました。海と言えば島影がつきものの長崎とは大違いです。同じ九州でも「海」のイメージがちがうのにへんに感心してしまいました。

宿に帰ってお食事。他のお客様も一緒でしたので、静かに会食。その後、大部屋に移り、恒例の二次会です。今回は宮崎支部が準備された「5万円以下」商品付ビンゴゲーム。隆平くんが大活躍です。ビンゴの後は、サーバス受け入れの体験や旅行報告・エピソードなど夜更けまでおしゃべりは尽きません。男性はその後かなり続いたのではないのでしょうか。

翌日はサーバストラベラーが見えたときはみなさんがよくお連れするといわれる青島と鶴戸神宮へ車に分乗して出かけました。鶴戸神宮は波で浸食された洞窟の中にある神社で、運玉を投げて運勢を予測する岩もあり一同トライ。命中する会員もあり拍手！理科の先生をリタイアされたIさんの地質学的説明もあり少し賢くなりました。

昼食は太平洋を眺望できるレストラン「えぷろん亭」。海の幸に舌鼓を打ち、解散。4月の支部会議での再会を約束してそれぞれの帰路につきました。

参加者は17名(熊本2+1、大分5、福岡1、長崎2、宮崎7)。とても楽しい会でした。宮崎のみなさんのご苦勞に感謝いたします。ありがとうございました！(O記)

2. 「サーバス旅行」報告 2 編

女性 3 人でイギリスへサーバス旅行

佐賀会員 (Y, H, S)

9/28 (水) 福岡空港よりサーバスメンバーの 3 人で旅立ちました。待ち時間はウォーミングアップの為に英語のシトリをして待ち時間を過ごしました。(?)

9/29 (木) ヒースロー空港より地下鉄を経由してロンドンの東フェバーシャムという入り江に近い町に着き、ホストファミリーのクリスティーヌという女性と対面しました。クリスティーヌの家族は子供さんが離れて暮らされていて、エンジェルという犬とトムという猫と暮らされていました。この日は以前より行ってみたかったレディ・ベイリーという人の持ち家でもあるリーズ城というお城の見学に行きました。湖の上に立つリーズ城は、白鳥やかもが泳ぐ姿がなおいっそう城を際立たせていました。夜はチャンネル・トンネルという海を見て連れて行ってきて夕日を眺めながら海岸を散歩しました。とても雰囲気のある海岸のサンセット・ウィスタブルゲートという町でパブに入り食事をしました。

9/30 (金) カンタベリー物語で有名なカンタベリー大聖堂に連れて行ってくれました。すごく盛大な教会で様々な歴史を知る事が出来ました。カンタベリーではパンティング・ボートという小船に乗り川くだりをしてゆっくりとした時間を過ごすことが出来ました。スコットランド人の船頭さんがまるでカンタベリー物語のような自分の半生を語ってくれました。とても感慨深いものでした。夜はクリスティーヌの手料理と手作りラズベリーのアイスを美味しくいただきました。クリスティーヌはイギリスの古いダンスを踊っていて明日がダンスの大会があるという衣装を見せてくれたり踊りを見せてくれたりしました。

10/1 (土) フェバーシャムよりロンドンの北西に位置するミルトンケインズに移動です。電車と地下鉄を乗り換えてどうにか間違えずに行くことが出来ました。ミルトンケインズではホストファミリーのミッシェル&モーリス夫婦と二人の息子(もう一人は海外)、猫のユキに会いました。これまで何人もの大学生などをホストファミリーとして受け入れていた方でとても肝っ玉母さんという感じのミッシェルでした。この家はとても静かな村にあり近くには古い教会があり、羊、馬、牛などが放牧されていて、昔ながらの古いイギリスの田舎という感じでした。

10/2 (日) ミルトンケインズから近くの石造りのウーバン城という所に連れて行ってくれました。そこではインド人の結婚式があっついて一緒に写真を撮ったりしました。帰りはご主人のモーリスが迎えに来てくれて園芸店に寄ってくれました。夜はご主人が好きなアイリッシュダンスのビデオを見て楽しみました。

10/3 (月) この日はミルトンケインズからマンチェスターに電車で行きました。実はブリットレイルパスを買っていたので利用したいと思い、話し合った結果マンチェスターに行くことに決めました。マンチェスターでは古い図書館を見学したり観覧車に乗ったりしました。マンチェスターではデモがあっっており、若い人たちが仕事を求めて政府に抗議していました。現在、世界中不景気であることを改めて感じました。

10/4 (火) ミッシェルはすべて手作り料理でもてなしてくれました。家で取れた野菜、もぎたての果物、産みたての卵などとても料理上手で素晴らしく美味しかったです。いよいよ帰国となり、ミルトンケインズよりヒースロー空港までタクシーで帰途につきました。帰りのタクシー運転手のソマリア移民の男性も日本の震災や原発の事を心配してくれて本当に嬉しかったです。

10/5 (水) 無事、福岡空港に着きました。

【旅行後記】

無事イギリスから帰ってきました。

初めは、サーバス会員の方が本当に待っていてくれるのだろうかとそれが心配でしたが、2軒の会員の方々は、私たちが来るのを楽しみにして暖かく迎えてくださいました。ヘバーシャムのクリスティーヌは、リーズ城は交通の便が悪くからといって送迎してくれました。カンタベリーには、仕事にいく途中だからといって、これまた車で送迎してくれました。

私たちが泊まる前日は、イタリアのサーバス会員の母子が、カンタベリーの学校の入学試験を受けるために泊まっていたとのことで大忙しのようなようですが、疲れも見せずいろいろなお話や、エコライフについてかたってくれました。ミルトンケインズのミッシェルは、ガーデニング大好きの本当に明るい太陽のような人でした。自宅の庭でとれたりんごやなし、豆、その他たくさんの野菜、にわたりの産みたての卵。それらを、手早く料理して食べさせてくれました。マンチェスターに行くといったら、ご主人がすぐに列車の時刻や見所を調べて教えてくださいました。

息子さん二人も家事を手伝い、何かと母親を助けていました。休みの日には、家族でサイクリングをしたり、ウォーキングをしたりするそうです。人口200人ぐらいの小さな町で、建物や教会、牧場がとても素敵でした。機会があったら本当にまた訪ねたいと思いました。我が家で外国の人をホームステイさせたことは度々ありますが、自分が外国にホームステイするのは初めてでした。国内外のサーバス会員の皆さんのおかげで楽しいたびをすることができました。ありがとうございました。

サーバススウェーデン旅行報告

2011.08.25 ~ 09.15

(福岡) T. R

8.25 ~ 9.2

10年に及ぶ自宅での介護に疲れた友を連れ出そうと暑い日本を飛び出し北欧へ旅立った。

美大出の彼女とアート大好きのふたりでガラス王国を訪ねようとスウェーデンの南を目指した。10年前にストックホルムで一目惚れで買った硝子の小瓶が後で世界的に有名な作家のものと知り彼のアトリエを訪ねたいと思った。硝子工場の片隅で夜、塩漬けのニシ、ポテト、ソーセージなどを焼きビールやワインを飲みながらワイワイと冬の夜を愉しんだ伝統が今観光客に開放されており運良くそのパーティー(ヒットル)の予約が出来た。マウイングラスも買い大事に日本に持ち帰り毎晩にやにやしながら愉しんでいる。まるで美術館に滞在しているようなガラスアートホテルも忘れ難く再訪したい。

ストックホルムに5泊し美しい市内もだが毎日遠くの小さな町や村を訪ね歩いた。

彼女は帰路ヘルシンキで南紀を襲った台風のために飛行機がキャンセルになり2延泊になったという。わたくしの心配を余所に思いがけずヘルシンキ観光が出来たと愉しんだようだった。

9.2

さあ、これから二週間のサーバスひとり旅が始まる。王宮や国立美術館などを廻り観光船に乗り込む。海から10年前に行ったストックホルムの美しい街並みが一望できる展望所を発見し再訪する。目の前に大きなバル海クルーズ船が見える。17:57の寝台車で北を目指した。ゆったりの一ひとり部屋にしたくて今回は一等のレイルパスを買った。観光本には北のキルケを除いてグーリ地方以北の情報は一切ない。だから旅してみたかったともいえる。翌朝海辺のルリオに8:35到着し観光する。夕方ボデーに列車で戻ると駅にメンバーのピアが迎えに来ていた。

レポートをするに至る実に不愉快な滞在となった。イト好きでまるでイトのインテリア、物置から出したマットを床に敷いて寝た。外類を貸してと頼むと「まあ、びっくり！」と大声で「シャツも持ってきてないの、常識でしょ！」と云われた。ベジタリアンなので食事は実にシンプル。

9.3 ~ 9.5

目覚めるとイト音楽や尺八が聞こえ瞑想でもするのか朝食は10:30を過ぎていた。森にバーを摘みに行くはずが雨でドライブすることになる。いきなり「あら、ガリンがないわ、財布にも小銭しかないわ。」と喋って払ってくれないと強要された。いきなりびっくりである。しかも翌日はバスケットのチャージ用に大きなお金を出していた。端から出させるつもりだったようだ。夜は招待された友人宅で夕食をご馳走になった。感じのいいご夫婦で北欧らしいインテリアが素敵だった。会話の途中で大皿を指で舐めたりスプーンをべりりと舐めたり行儀の悪さが目に余る。英語の発音を嘲笑したりいろいろ不快なこともあり明日は早く離れようと思った。

北部は列車の便が極めて悪く南へ行く列車も日に2本で夕方までルリオで過ごさねばならず朝バスと一緒に出了。ひとりになりたいと早めにバスを降りようとするといきなり怒り出した。「わたしと一緒に過ごすのが嫌なの。」と凄惨な剣幕である。やれやれ、何とか宥めてしばし一緒に過ごす羽目になる。気が短い気まぐれな独身女性に振り回された滞在だった。

9.5 ~ 9.8

16:00過ぎの列車で4h掛けてウメアへ移動し20:35ウメア着、メンバーの外科医カリンがホームで待っていた。聡明な感じのきりっとした女性で郊外の家に着くまで話が弾んだ。昨日迄とはまるで違う心地良さで19歳の女子大生サと15歳の高校生アントンが食事の後片付けをしていた。ぐっすり眠る。カリンのたつての希望で3泊させていただく。カリンとサはベジタリアン、ご主人がエルク(大鹿)狩りが好きで息子と2人でエルクの肉を食べるといふ。初めて口に

したがあまりくせがなかった。生憎ご主人は仕事で北部に出掛け会えないのを残念がっていたとか。ウメの街を散策したりドライブしたり森を散策したり夜は星を見ようと村を歩いたり自然を満喫した。寿司を食べに行ったが味はいいのにいびつな握りで美しくない。誘っていただいたがご馳走する。ご主人の実家で農場暮らしも長く現在の田舎暮らしも子供が成長したので近々街中へ住み替えをしたいと一緒に候補地を見に行った。何でも税金は30%だそうである。

9.8~9.10

朝7:00過ぎに出勤のカンと眠そうなアントンと一緒に家を出る。9:30のバスで4h30掛けて海辺の町スズバルへ移動する。列車の予定が工事でバスしか走らない。本当に交通の便が悪い。景色を楽しみうたた寝をしてスズバルに13:50着。ホテルにチェックイン。大きな美しいビルが建ち並ぶ綺麗な街だ。1888年に大火があり殆ど焼失したがただ一カ所五つ星のホテルに美しい階段が残っているというので覗く。ベジタリアンのホストが続いて6日もワインを飲んでいなかった。大きな専門店でワインを買いホテルで美味しく飲む。TVでイギリスの時代劇を観る。

翌朝、展望台のある山に登る。いつもポットを持参するが「どこでもカフェ」は便利この上ない。しかも北上してからいきなり寒くなり冬のヤッケに変えてずっと雨だった。ホテルでしばし読書をして過ごす。13:00過ぎの列車でイェブレイへ移る。シガナルの故障で何度も止まり40分遅れたがホテルは駅の傍で快適。土曜日で街は賑わっている。

夕べ深夜映画を観たので眠い。ジェームス・マクゴイの若い頃の映画で面白かった。朝、荷物を預けて街に出て城、(といっても大きなお屋敷程度)鑑獄博物館、教会、愛らしい木造の家が密集した石畳のオールドタウンを廻る。海辺迄歩き美術館にも行く。小さいが楽しい街だった。

15:00の列車で懐かしのストックホルムへ戻る。

9.10~9.12

日が暮れる頃、次のメンバー、マルガレータに会う。70歳の元先生で見晴らしのいいフラットに住んでいる。いきなり今夜は友だちの誕生日パーティーに行こうという。地下鉄を乗り継ぎ歩き回って辿り着く。沢山の人に交じて会話を楽しみ食事をした。日本からの絵がキをプレゼント。

朝スウェーデンに出てマルガレータはジムに行きひとりで街を散策する。オールドタウンや教会へ行く途中面白い看板を見つけた。寿司屋で「日本人みたいに食べよう」とある。写真を撮っていると手招きされしばらく話をする。午後マルガレータと合流しお腹がすいたと出店でエジンのフライ、マッシュポテト、ビーツ、野菜、パンの盛り合わせを注文した。熱々で美味しい。海辺を延々歩き公園を抜けてテイルスカ・ギャラリーへ。ムクの収集では世界一でオートレック作の踊り子(ドガ風)もある。街中では有名画家の展示会にも行く。帰りに友人の自転車を借りて近くの森にサイクリングに出掛けた。ところがサドルがやけに高く足も届かない。ブレーキときたら足踏みを後ろに戻すと効くという日本のとは似ても似つかぬ物で慣れるのに時間がかかる。こぐときは足はしっかり伸ばすのがいいという考えだという。土砂降りになり濡れながら帰宅。楽しかったがきつかった。

翌日10:00頃マルガレータと別れる。中央駅でロッカーに荷物を預けるのに一苦労した。スウェーデン語のスクリーン形式で助けてもらってやっと終了。昼から北方民族博物館に出掛ける。ほんの100年前まではただ貧しい農業国だったというスウェーデンの現在の発展が嘘のようだ。

9.12~9.14

次のホストの家へと地下鉄を降りると仕事帰りのエアが声を掛けてきた。30年も住んでいるという屋根裏の広い家はまるでインテリア雑誌の写真のように素敵だった。教育関係の専門家で知的な女性だ。翌日はシグチュナという小さな町を訪ねた。城跡や木の教会、1000年前の古い石碑の数々、マーケットもあって庭先のリコがたわわになる家では門の前にリコやプラムが盛られたバスケットがご自由にどうぞと置いてある。夜はドイツからご夫婦が遊びに見え同宿した。

ギリシャに別荘があるからとお誘いを受けた。大変なご馳走で息子さんも来て賑やかな宵となった。サバスに入ろうかと興味深々なご夫婦だったが揃って風邪気味で持参の風邪薬を差し上げる。10年振りに硝子の小瓶がいざなってくれた3週間のスウェーデンの旅が終わった。

3. 会員情報

新会員の紹介

福岡のT. Nさんと国東での夏例会のガイドをしてくださった住職のM. Tさんです。Mさんのお寺に宿泊可能（ただし、食事なしですが、食事場所は近くにありますが）、日本人旅行者歓迎だそうです。例会ではみんなで座禅をさせていただきました。国東ウォーキングの希望をお持ちの方には朗報ですね。その前にボランティアガイドの会員のOさんに連絡を取られてコース設定など相談されるのもいいですね。（2012年度からの受付になります）

（休会されていた大分のTさんが復帰してくださいました）

4. 日本サーバスから 2点

日本サーバスから以下の連絡を受けています。

サーバス国内会議の案内

1. 期日 及び日程:

2012年3月17日(土)～18日(日)(その後、希望者は京都観光)

2. 会場:

・国内会議: 京都府農協会館 601-8585 京都市南区東九条山王町1番地 Tel 075-681-5169
・懇親会: メルパルク kyoto 8階展望スカイラウンジ「大文字」 600-8216 京都市下京区東洞院通七条下ル東塩小路町 676-13 Tel 075-352-7444。

3. 宿泊施設: 各自手配

4. 日本サーバス創立50周年記念懇親会

食事をしながら

・和太鼓の演奏「武伍路衆」・映像による各支部活動の紹介(各支部)
各支部活動を、支部例会、イベント、トラベル・トラベラー受け入れ時等の映像を組み合わせ、5分程度で紹介する。・映像にみる東日本大震災(ピースセクレタリー津村さん)

5. 台湾・韓国サーバスメンバーとの交流

6. 懇親会参加費: 5000円

国内会議終了後の京都観光

国内会議終了後、日本(参加希望者)と台湾の方が共にする京都観光は、京都市東山の七条や五条あたりを中心に行おうと思っています。内容は、昼食後、①梅が咲いていれば智積院で梅を見る②国立京都博物館でお雛様等の展示の観賞。又は、三十三間堂を見学する。(清水寺も候補になりますが、この時期、混んで大変かと思っています)③東山五条の河井寛次郎美術館を見学する(学芸員は非番でしたが、会員で懇意にしている方が頼んで下さり、学芸員の解説付きになりました)④レストランで夕食を楽しむ。⑤その後、時間のある方は丁度京都東山花灯路2012 <http://www.hanatouro.jp/>期間中なので、花と灯りが飾られ、幻想的な雰囲気を出している清水寺や円山公園、八坂神社辺りを散策する。そして、四条通を花見小路まで足を延ばせば、運が良ければ、綺麗な舞子さんにも会えるかも、、、。又、台湾のメンバーが先斗町見学を希望なので、そこまで足を伸ばそうと思います。

**参加希望者は支部長までお知らせください。(費用は自己負担) 1月末までが第1次締切りです。

サーバス国際会議

以下のようなお知らせが日本サーバスの会長より届いています。

お待たせしました。来年のサーバス国際会議が、ポーランドのマズリー地方(ワルシャワ北方の湖水地帯)で8月18日から25日までの日程で開催されることが決定したようです。参加を希望され

る向きは予定に入れておいてください。国際会長名のメールと共にとりあえずお知らせします。
K. T.

from: Gary Sealey gary.sealey@gmail.com

title: Servas International General Assembly 2012

Please hold August 17-25 for your Servas trip to the GA Conference, August 18-25, in Poland, in beautiful Mazury region.

Please arrive on Friday, August 17 near Warsaw or Gdansk International airport; resting with Servas hosts or at self-funded hostel rooms. Local transportation to be arranged to conference site on Saturday, August 18.

Participants depart the conference site about mid-day on 25 August 2012 for self-funded Servas discovery tour or for flight or rail home.

Negotiations for 158 beds are freshly proceeding with the modern Polish conference centre; when completed, you will get pricing and other details and the contact information for the host-team. Timing has been chosen to be close to the dates of the Servas Youth Meeting, and also to avoid conflict with the attractive programme offered early June by Servas Netherlands.

Please do not buy your tickets until we give you more information – but please hold this date. We are also investigating possible discount long-distance transportation. We will update you as soon as we know.

Suggestions are welcome. Questions? please tell me. Area Coordinators, please bring this alert to your active national secretaries and groups.

Gary Sealey

以上

5. 東北支部からの要請

東北支部の S. M. です。

Tさん（日本サーバスのピースセクレタリー）から具体的に支援物資のリストをあげてもらえました。一昨日私は近所の方たちから集めた毛糸類を津村さんに送りました。郵送費大きな箱2個で2,400円取られました。皆さんへのお願いもこの輸送費代がかかるって思うと申し訳ないです。

とりあえず送り先を書きます。 よろしくお願ひします。 S. M.

丁度、昨日午後でしたが気仙沼に敷布やタオル、食器などを中心に運んできたところでした。毛糸について進藤さんにもお伝えしなければと思っていました。毛糸が欲しいというお話を頂きました。それと鍵付きの編み棒も欲しいという話でした。

昨日は仮設の防寒対策中でした。県の作業のお粗末さが、とてもよくわかりました。壁全体を断熱材で覆い、それをビニールで留めていました。当然床の対策は、この方式ではできませんから、床からの寒さ対策にはなりません。ビニールで留めていますから、夏は剥がさざるを得ませんでしょうから次の冬にはまた対策をしなければならぬはずですね。お粗末なものです。

支援物資も少しづつ必要なものが出てきました。

介護でもらえるはずの紙オムツ（成人用）・・・7月には600包みも持って行って終わったと思っておりましたが、ストックがあと数個、

子ども用紙オムツのストックは10数個。消毒薬のニーズが冬場で出てきました・・・☆ これはまだ充分ストックがあります

衣服について・・・子ども用があれば欲しいです。靴下などの下着類が一番
大人用・・・特に女性用の大きなサイズ

- ・・・子ども用の毛布、バスタオル
- ・・・子ども用のフェイスタオル

☆ 大人用のフェイスタオルはストックがあります

洗剤や石鹸などの消耗品

東北の被災地での住宅建設が解禁になりましたが、蓄えの多い人ばかりではありません。少しでもお金を蓄えて、新しい生活に踏み出せるよう消耗品等で支援を頂ければと言っています。

また、自分たちで少しでも働きたいという人のための材料（端布、糸、糸、針など）の提供、仮設住宅の中で、自分の時間を使って内職に準じた収入が得られるようなアイデアなども提供して下さい。

雪が積もるようになると、現地に出向く回数が減ります。その時には、トラックをチャーターしてでも運びたいと考えます。

現地での協力者が増えました。中学校が避難所だった4月に生活の面倒を見ていた方で、幼稚園の園長さんです。今、少しずつその幼稚園に物資を運び、近隣の幼稚園にも声をかけて頂いて配布して頂いております。

近況報告でした。

T.

6. サーバス九州2012支部会議+フィールドワークのお知らせ

ちょっと早めですが、みなさまに予定を組み込んでいただくためにお知らせしています。来年の支部会議はあの金印の島・志賀島（しかのしま）で行います。

今回もフィールドワーク付の支部会議です。お楽しみください。（参加確認は来年になってから行います）

この内容は福岡のT・T両会員が現地に出向き直接体験をもとに作成してくださいました。

時：2012年4月21日（土）14:00～22日（日）13:30
 所：福岡市東区志賀島 玄海国定公園「休暇村志賀島」（092-603-6631）
 シバマ

内容：

4/21 集合：14:00（休暇村・志賀島）
 入浴 or 散策
 支部会議：15:00～17:30
 夕食（ビュッフェ式）：18:30～
 懇親会：部屋で（各自の持ち込み大歓迎）

4/22 島内ツアー（ボランティアガイド付）9:30～12:00
 昼食兼海産物ショッピング等：12:00～13:30
 一応ここで解散ですが、海ノ中道海浜公園でフラワーフェスティバルやマリンワールド等の見学が可能です。

費用： 一人11000円程度

7. サーバス九州からのお願い 2点

1 秋例会の案内と同時にはがきでいくつかのお尋ねをしています。返事がまだの方、よろしくお願いいたします。

はがきを紛失された方もあるかもしれませんので、以下に再度お尋ねを記しておきます。よろしくお願いいたします。返信ははがき・E-mail・Fax等各自の便利な手段でどうぞ。

- 1 ホストリスト掲載事項について (A現行通り B変更有) Bの場合は詳細を
- 2 サーバストラベラー受け入れについて (A受け入れなし B受け入れあり)
Bの場合は①期日 (大体で構いません) ②トラベラーの名前・性別・国籍・泊数)

2 新年と同時にサーバスの会計年度も新しくなります。

2012年度の会費の納入をお願いします。(1月末までにお送りいただければありがたいです)
若干名の方が11年度の会費が未納になっています。多分お忘れになっているかもしれませんので、再度、該当の方には連絡を差し上げたいと思います。行き違いの場合はご容赦ください。よろしく願いいたします。(納金先は下記をご覧ください)

発行日:2011年12月9日 (146号) 発行者:サーバス九州支部長	【会費、認定料等の送金はこちらをお願いします】 ・<郵貯口座からだ送金無料 > 記号:17240 番号:17160361 名称:サーバス九州事務局 ・<他銀行から> 店名:七二八 (ナナニハチ) 店番:728 種類:普通 番号:1716036 (有料)(これには末尾1不要)
--	---

郵貯口座のない方は郵便局で振替用紙をもらい以下のように書いてお送りいただければ幸いです。
(この場合は手数料が若干かかります。よろしく願いいたします)

口座記号				口座番号 (右詰で記入)				千	百	十	万	千	百	十	円
*		*		*				金額	*						
0	1	9	5	0	=	6	=					3	0	0	0
加入者名	サーバス九州事務局							料金				備考			
通信	.														